

現場で培う 傾聴力と想像力

原田 賢斗

Harada Kento

税務職員 | 2015年採用

八幡税務署 徴収部門



Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私の所属する徴収部門は、租税収入を確保するため、定められた納期限までに納税されていない税金の滞納整理を行います。日々の業務内容は、電話や文書での催告、納税者の自宅、事務所に臨場し、生活状況や事業状況を納税者一人ひとりからしっかりと聴取した上で、各人に則した納税相談、指導を行っています。一方、納税者の中には、故意に納税しない者、財産を隠匿している者など、悪質な納税者がいることもあります。そのような者に対しては、法律に基づき、徹底した財産調査や捜索を行い、差押えなどの厳しい滞納処分を実施します。徴収の公平性を保つために、「正直者には尊敬の的、悪徳者には畏怖の的」の精神で業務に取り組んでいます。



Question 2 研修について教えてください

採用後1年間は、税務大学校に入校し、税務職員として必要な知識、技能等を身に付けるために、税法をはじめとした法律科目と簿記会計学を学ぶことになります。私自身は、法律や簿記等の知識はありませんでしたが、講義では著名な大学教授の下で学ぶことができ、大変貴重な経験ができたほか、分からないことは、同期と助け合いながら知識を習得しました。また、全寮制の生活の中では、税務職員として必要な知識や技能等を習得するだけでなく、困難なことを同期と共に乗り越えることで、仲間と協力する大切さも学ぶことができました。今でも、年に1度は各地にいる同期と集まり、研修時代の話に花を咲かせています。



Question 3 税務の職場の魅力について教えてください

徴収職員は差押えなどの強制執行ができる強い権限を有しています。権限を行使する場合には細心の注意を払う必要があり、緊張も伴います。個人、法人共に、多種多様な業種があり、各業種の事業内容、地域の特色を理解し、納税者の全体像をイメージし事情等を確認した上で、その納税者に則した徴収を心掛けていますが、それぞれ異なる状況の中で処理方針を定め、徴収することは簡単ではありません。そのような緊迫する状況の中で、自分自身で定めた処理方針どおりに完納となったときは大きな達成感を感じると同時に魅力も感じます。多種多様な業種の特色を理解することは調査も同様であり、様々な業種の知識が身に付くことも魅力の1つだと思います。



メッセージ

Message

税務の職場は専門的知識を要すこともあり、自分にできるだろうか不安に思われる方もいるかと思いますが、しかし、研修制度、カリキュラムは充実しており、多岐にわたる知識を習得することで心身の成長を手助けしてくれます。なにより、全国各地に同期の縁で結ばれた友人ができます。各署への配属後も、税法や一般教養などの研修が充実しており、配属後数年間は指導担当者による指導やアドバイス等のサポートもあります。また、研修では味わうことのできない現場の緊張感は、自身の更なるスキルアップを促してくれます。

研修、実務で得た多種多様な知識は自身の財産となり、私生活も豊かにしてくれることは間違いありません。皆さんも国家の財政基盤を一緒に担ってみませんか。

